

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

<研究データの二次利用および移動に関するお知らせ>

研究課題名

「精神障害当事者との共創によるリカバリー促進に向けた協働意思決定モデルの構築」

(北里大学医療衛生学部研究倫理審査委員会承認番号：2019-041)

【対象となる方】

2020年11月15日より2021年6月29日の間に、対面またはオンラインにて実施しましたパートナーシップに関するグループインタビューに参加された方

【研究データの二次利用および移動の目的および利用方法】

インタビュー実施当時の発言内容を文字にして研究者がまとめたものを元に、新たな研究の実施を下記の通り、計画しています。

1) 新たな研究の研究課題名：

精神疾患をもつ当事者と支援者の共同意思決定において両者が重要と考える
関係構築プロセスの指針作成に向けた合意形成調査 (研究代表者 川口敬之)

2) 研究体制：

【研究代表者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
地域精神保健・法制度研究部 川口敬之

【共同研究機関】 神奈川県立保健福祉大学 渡辺愛記

【共同研究機関以外の情報を取り扱う機関】 なし

3) 新たな研究の目的：

研究目的は、精神保健福祉サービスを利用する精神障害をもつ当事者と支援者とのパートナーシップを構築するために、双方が行うことが重要とされる関わりについて調査し、パートナーシップのために適切な関係を構築するための要素を明らかにすることです。

インタビュー調査を実施したことにより、パートナーシップを構築するために重要とされる関わりや要素が多くあることが分かってきました。しかしながら、内容が細かく、すべてを把握することが難しい状態であるため、このままでは研究で得られた知見を精神保健福祉における生活支援サービスの発展のために用いることができません。

新たな研究では、精神障害をもつ当事者と支援者、精神障害の経験をもって働いているブアスタッフを対象としたアンケート調査を行い、より詳細な分析を行いたいと考えています。

4) 研究実施期間：2023年5月25日より2025年3月31日まで

【研究データの二次利用および移動の方法】

個人を特定できる情報を削除した発言内容の文字データをまとめたものから、新たな研究で実施するアンケート調査の項目を作成します。

文字データをまとめたものは電子ファイルの状態で、パスワードで管理された記録媒体（USBメモリ）に保存し、北里大学医療衛生学部の研究室内で施錠して管理していました。新たな研究の実施に伴い、研究代表者である川口敬之の所属先（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）にインタビューの文字データが保存されたUSBメモリを移動し、同じく施錠して管理いたします。

USBメモリは、共同研究者である渡辺が北里大学から公共交通機関を利用して、国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部へ直接手渡しで移動します。

なお、北里大学には研究データを残すことはなく、他の研究機関に提供することはありません。

【二次利用および移動する研究データについて】

二次利用ならびに移動する研究データは、インタビューの発言内容を文字にして研究者がまとめたもののみです。

氏名、生年月日など、個人を特定できる情報はすでに削除した状態です。そのため、発言内容から個人が特定されることはありません。すでに個人情報とインタビューの発言内容が結びついていない状態で研究データを保管しておりますので、今後同意撤回されても、参加者個々の情報を削除することはできない状態です。

この研究は精神保健福祉における生活支援サービスの発展のために行われるものであることをご理解いただき、研究データの二次利用ならびに移動につきまして、ご了承いただきますようお願いいたします。

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

所属 地域精神保健・法制度研究部 氏名 川口敬之

電話番号 042-341-2712（内線 6329）

e-mail : kawagu-t※ncnp. go. jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu※ncnp. go. jp（「※」を「@」に変更ください。）